

発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成18年 第3回 定例会 代表質問

	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	桜井議員 (自民)	1 少子高齢化時代における福祉関連施策について 2 新庁舎の進捗状況について 3 指定管理者制度の成果について	旧番町出張所跡地を活用した高齢者小規模多機能施設の整備について 麹町保育園の改築について 障害者福祉施設の整備等について (障害者自立支援法施行に伴う諸課題を含む) 高齢者総合サポートセンターの整備について その他施設整備に関連して 新庁舎の進捗状況と真に区民にメリットのある庁舎とするための方策について 本区の指定管理者制度導入の評価と今後の方向性について	区長及び関係理事者
2	飯島議員 (共産)	格差社会を拡大した小泉構造改革に区政はどうたいおうしてきたか 高齢者、障がい者、子育て世代の切実な声に応える緊急課題について	1)「官から民へ」で行政責任は果たせたか。公共住宅建設をのぞむ区民の切実な声はどううけとめられたか。 2)区は住民の人権を守る区の仕事を非常勤や、民間の不安定雇用でおぎなってきた。所得格差をつくりだした原因のひとつである雇用破壊につながるものではないか。 1)高齢者の不安を和らげるために * 負担増に対する不安を軽減することについてなど * 高齢者センター建設について 2)障がい者があんしんしてらせるために * 自立支援法の中で区独自の支援などについて * 障害者福祉センター建設について 3)子どもを安心して産み、育てるために * お産場所を確保することが困難になっている今日、東京通信病院の産科廃止について * 子ども医療費の助成拡充について インフルエンザ予防接種助成についてなど	区長、ならびに関係理事者
3	大串議員 (公明)	「子ども優先の社会」を目指して	「子ども優先の社会」の実現に向けて、自治体として確かな道筋をつけていくべきと考える。改めて区長に基本的な考え方を問う。 格差が広がっている中、子どもの本来持っている能力や可能性を見出し育てる機会が全ての子どもに確保されていることが重要となっている。区としてどのようにしてこの機会の平等を確保していくのか。 子ども施策全般を子どもを主体とする視点を持って体系的に推進し、チェックできる仕組みが必要である。現在、区として次世代育成推進会議がその役割を担っているのが、現状と今後のあり方を問う。	区長並びに関係理事者